

平成28年度・第24回総会開催

宮本忠長先生のご遺志を受け継いでいく

信州名匠会(土本俊和会長)は6月27日、平成28年度(第24回)通常総会と講演会を長野市のホテル犀北館で開催した。総会では、27年度事業・会計報告、28年度事業計画・予算などを承認した。任期満了に伴う役員改選では全員が再任となった。

総会の冒頭、土本会長(信州大学教授)は、「亡くなられた宮本忠長先生が、建築家と職人の方々、建築にたずさわる方々が集まる場としてこの会をつくられた。宮本先生のご遺志を受け継ぎながら、未来に向かって発展しながら継承していきたい」と話した。

総会後に行われた講演会では小布施堂の市村次夫代表取締役が登壇。「宮本忠長先生と小布施の仕事」をテーマに、同氏と宮本氏がいかに小布施の町並みを再構築していったのか、当時の思い出を交えながら講演した。



会員や来賓など45名余りが参加して開かれた総会・講演会



宮本忠長先生の遺徳を偲び、全員で黙祷を捧げた

「信州名匠会」ホームページを更新

信州名匠会のホームページを更新しました。土本会長のご挨拶文、「宮本忠長名誉会長を偲ぶ」を掲載したほか、既刊の「たぐみ」をPDFデータで閲覧することもできます。ご覧ください。

<http://www.meisyokai.com/> 「名匠会」で検索してください。

平成27年度 年間スケジュール

平成28年

- 6月27日(月) 第24回通常総会・講演会・懇親会(総務)
- 7月23日(土) 第1回研修会A・C(総務・事業技術)
- 8月31日(水) 親睦スポーツ大会C(会員)
- 9月21日(水) 第2回研修会B(事業技術)
- 10月22日(土) ~ 23日(日) 研修旅行B・C(事業技術。協力: 総務・会員)
- 11月30日(水) 第3回研修会A・C(総務・会員)
- 12月21日(水) 第4回研修会B(事業技術)

平成29年

- 1月18日(水) 新年会C(会員)
- 2月22日(水) 第5回研修会A・B(総務・事業技術)
- 3月22日(水) 第6回研修会B(事業技術)
- 4月15日(土) 第7回研修会「お花見」C(会員)
- 5月24日(水) 第8回研修会A・C(総務・会員)
- 6月28日(水) 平成29年度通常総会(総務)

※ 研修会 場所: 基本会場(株)宮本忠長建築設計事務所
第2会場(株)降旗建築設計事務所

時間: 18:30 ~ 20:30 委員会の企画内容により異なる場合があります。

※ 研修内容・場所・日時については決定次第、順次お知らせいたします。

A 会員集会・委員会 B 学習・見学・実習
C 交流 カッコ内は担当委員会

平成28 年度通常総会 講演会

「宮本忠長先生と 小布施の仕事」

株式会社小布施堂 代表取締役
市村次夫氏



講演する市村次夫氏

市村氏は、宮本名誉会長のライフワークとなった、小布施の町並み修景事業について、行政との折衝、道の整備、周辺住民の住宅の曳家・新築などの詳細を、順を追って紹介。「小布施の取り組みを私たちは『町並み修景』と呼んだ。『街』並みを『保全』するのではなく『町』並みを『修景』する——。街区ではなく町全体の空間に及ぶもので、それを単に保存するのではなく風景を損なわないように再構築する。そこがポイントだった」と話し、「1976年に宮本先生が設計された北斎館が、小布施

という町の方向を決定づけた」と、宮本氏が与えた影響を振り返った。

講演の最後、市村氏は「宮本先生には昭和40年代から亡くなるまで小布施に関わっていただいた。小布施に関わらなければ、ほかにもっと良い建築を多く発表できたかもしれない。(小布施の)隣の須坂市に生まれてしまったのが運命だったのだろう」と、笑いを誘いながら懐かしそうに締めくくった。会場からは大きな拍手が巻き起こった。



顧問・市川健夫氏が逝去

信州名匠会の設立当初からの顧問で、東京学芸大名誉教授、元長野県立歴史館館長の市川健夫（いちかわ・たけお）氏が、12月7日、逝去された。89歳。市川氏は小布施町に生まれ、地理学と地誌学を基に、日本や信州の文化、風土を長年にわたり研究してきた。故宮本忠長名誉会長とは、須坂中学校（現・須坂高校）の同級生で、小布施のまちづくりでは「同志」の間柄であり、当会の趣旨に賛同して、実践的な研究者の視座から、惜しみない支援と助言をつづけた。ご冥福をお祈りいたします。



小布施町福原のご自宅で
インタビューに答える
市川健夫氏

二十六ツ星 1名、二十五ツ星 1名など 26名の認定者が誕生 ～スリースター制度規認定者紹介～

「スリースター制度」は、月1回の定例研修会に熱心に参加している会員の努力をたがいに認めあい、その誇りを励みに日々の仕事を高めあおうと、平成11年に創設された。研修会へ1回出席するごとに1単位を加算し、10単位で星1つを与える。新規認定者26名（認定者総数67名）が誕生し、通常総会において認定証を授与された。貴重な研さんのお場である定例研修会への、会員諸氏の精力的な参加に、ますます期待が高まっている。

◆「スリースター制度」平成27年度新規認定者

（平成28年6月現在、五十音順、敬称略。紙幅の関係で新規認定者のみ掲載いたします）

☆☆☆二十六ツ星 1名☆☆☆
坂田守夫／坂田工業（株）

☆☆☆二十五ツ星 1名☆☆☆
西澤嘉雄／（有）エヌ設計

☆☆☆二十四ツ星 1名☆☆☆
堀誠／建築工房アカシヤ

☆☆☆十九ツ星 1名☆☆☆
高木茂実／松田産業・南信（株）

☆☆☆十八ツ星 1名☆☆☆
五明良平／（株）五明

☆☆☆十七ツ星 1名☆☆☆
中村光敬／（有）中村木工所

☆☆☆十六ツ星 1名☆☆☆
西澤 広智／（株）宮本忠長建築設計事務所

☆☆☆十四ツ星 1名☆☆☆
白石大陸／サンコー特機（株）

☆☆☆十三ツ星 2名☆☆☆
鎌倉良収／（株）鎌倉材木店
西宮登貴男／（株）綿内瓦工業

☆☆☆十二ツ星 2名☆☆☆
犬飼栄治／（株）シナノ大理石
増田幸雄／匠建設（株）

☆☆☆九ツ星 1名☆☆☆
海野政也／（有）海野鉄筋工業所

☆☆☆八ツ星 1名☆☆☆
井内猛男／（株）井内工務店

☆☆☆七ツ星 2名☆☆☆
米田満／（株）山二
落合一視／落合コンサルタント

☆☆☆五ツ星 2名☆☆☆
山田一忠／インテリア販売ヤマダ
黒澤忠／クロサワメタル（株）

☆☆☆四ツ星 2名☆☆☆
荒井孝明／（株）本久
出澤潔／出澤潔建築設計事務所

☆☆☆三ツ星 1名☆☆☆
北澤徹／（有）北澤ステンレス工業

☆☆☆一ツ星 5名☆☆☆
笠原佑晃／（株）二見屋
祢津吉通／（株）ミツルヤ製作所
小坂浩一／小坂建設（株）
竹村利之／（株）竹村建築設計事務所
宮内計臣／（株）宮内

平成27年度 事業報告（人数は参加者）

平成27年

6月25日（木）第23回通常総会・講演会・懇親会 55名
「たくみ」No.36夏号発行
7月25日（土）第1回研修会「降幡副会長のお話し～民家の歴史を学ぶ」19名
8月27日（木）親睦ゴルフ大会 長野カントリークラブ 12名
9月17日（木）第2回研修会「リレートーク（外壁工事）」荒井孝明氏 19名
10月5日（月）平成27年度 第一回理事会「平成27年度研修旅行について」12名
10月29日（木）第3回研修会「エヴァンゲリオンと日本刀展」見学会 32名
11月7日（土）～8日（日）研修旅行「隈研吾建築探訪と歴史の町・会津、大内宿」21名
12月16日（水）第4回研修会「リレートーク（内装）」鳥羽秀和氏、保科卓良氏 17名

平成28年

1月20日（水）新年会 ホテル犀北館 32名
1月20日（水）「たくみ」No.37新春号発行
2月25日（木）第5回研修会「リレートーク（金属工事）」黒澤忠氏 22名
3月24日（木）第6回研修会「リレートーク（木製建具）」中村光敬氏 21名
4月4日（月）平成27年度 第二回理事会「平成28年度信州名匠会総会について」14名
4月16日（土）第7回研修会「松代のお花見・見学・陶芸教室」17名
5月31日（月）第8回研修会「宮本忠長名誉会長を偲ぶ～緑舁舎 見学」33名

平成27年度 会計報告書

自：平成27年6月1日／至：平成28年5月31日

会員の動向 (平成27年6月～平成28年6月。敬称略)

- 入会 個人会員 ■ 林 正道/大工/(株)林工務店/上田市古安曾2675-1/0268-38-1230
小宮山 吉登/設計/(株)倉橋英太郎建築設計事務所/松本市野溝木工1丁目1-30/0263-26-6765
宮原 博一/塗装/(株)五明/長野市西和田1-11-46/026-241-1771
- 入会 賛助会員 ■ 星川 嘉諒/木材製材・加工/征矢野建材(株)/松本市笹賀7116-1/0263-86-0250
- 担当者の変更 賛助会員 ■ 松田・南信(株) 前任)高木 茂実 新任)本澤 篤
(株)LIXIL長野営業所 前任)細川 和哉 新任)隈部 岳
(株)宮本忠長建築設計事務所 前任)宮本 忠長 新任)宮本 夏樹
- 退会 個人会員 ■ 宮川 裕行/三ツ友建築企画
合屋 達三/(株)ミツルヤ製作所
畔上 正/(株)五明

懇親ゴルフコンペ 山田一忠氏が初優勝

スポーツを通じ会員同士の親睦はかる恒例の懇親ゴルフコンペが、8月31日、長野カントリークラブで行われた。前日の台風が嘘のような、すばらしい天候に恵まれ、仕事を忘れ和気あいあいゴルフを楽しんだ。

山田一忠氏(インテリア販売ヤマダ)が見事、名匠会ゴルフコンペでの初優勝をされた。

プレー後のパーティーでは、坂田専務理事から各賞が渡され、ベテラン・若手のプレーを振り返りながら、親睦を深めた。



参加者は次の通り(順不同、敬称略)。

坂田守夫/坂田工業(株)、西宮登喜男/(株)綿内瓦工業、吉田雅彦/(有)スタジオスペースツー、北澤徹/(有)北澤ステンレス工業、五明良平/(株)五明、山田一忠/インテリア販売ヤマダ、堀悟/(株)角藤、水沢仁亮/(株)二見屋、増田幸雄/匠建設(株)、荒井孝明/(株)本久、西澤広智/(株)宮本忠長建築設計事務所、鎌倉良収/(株)鎌倉木材、本澤篤/松田・南信(株)

建具職人・中村光敬氏(信州名匠会会員) 「信州の名工」表彰

長野県は11月、卓越した技能を有し、県内産業の発展に顕著な功績等があった20名を「信州の名工」(卓越技能者知事表彰)として決定。「木製建具製造工」の部門で当会会員の中村光敬氏(有限会社中村木工所、千曲市)を表彰した。中村氏は、神社仏閣の建具・家具の製作、修復工事や難度の高い特殊加工を手がけている。全国建具展示会では2度の内閣総理大臣賞をはじめ多くの賞を受賞し、技能は全国的に高く評価されている。中村氏は、「職人として認めていただいた」と喜びながら、さらなる精進を目指している。



工房で「緋子」を丹念に仕上げる中村氏

定例研修会●Report

(平成28年5月～10月)

平成28年度 第8回研修会 【故宮本名誉会長追悼研修会・ 「緑艸舎」見学会】

平成28年5月31日(火)

講師：(有)エヌ設計代表取締役所長 西澤 嘉雄氏

参加者：35名

設計者と職人が一緒になって良い物を

5月の研修会では、亡くなられた宮本忠長名誉会長を偲び、信州名匠会の研修会等の場「セミナーハウス」として計画された宮本忠長建築設計事務所「りょくそうしや緑艸舎」の見学を行った。

研修会の初めに、宮本名誉会長自らがつくられた仏壇にお参り。その後、エヌ設計代表取締役所長 西澤嘉雄氏が、建築当時の宮本名誉会長の思い出を交えて「緑艸舎」について話した。

「緑艸舎」は飯山にあった旧川口家を解体移築した母屋が主。空間構成を守り、ディテールを完全に復元しながらも、飾りではなく機能性を持って日常に溶け込むように移築したという。西澤氏は「川口家は飯山藩の御殿医の屋敷であったことから、古民家とは違い、数奇屋的な部分がある。宮本先生の頭の中にあったのは桂離宮。解体はもの見事にできたがその後は悪戦苦闘し、まるで文化財の修復のようだった」と話した。「朝、『おはよう』と来た先生はヘルメットに長靴、手袋



当時の設計図などを説明しながら、緑艸舎に宮本名誉会長が込めた想いを語る西澤嘉雄氏。



故宮本名誉会長を追悼する研修会に参集した会員(緑艸舎2階広間にて)

姿。確認申請をなんとか通るように掛け合ったり、毎日設計変更をしたり、大変だった。しかし、心を込めるから良いものができる。それを学んだ」と当時を振り返った。

そして「今にもあのドアを開けて『やあやあ西澤くん』と先生が入ってきそう。思い出だけではなく、それはつまり30年、空間が変わっていないということ。木造建築は蘇る面白みがある。100年前の建物が、移築してさらに30年。今見ると輝いている」と話すと、懐かしそうに目を細めた。

また西澤氏は最後に「緑かおる大地で雑草のように根を下ろし、建築を学ぶ学舎」が「緑艸舎」の名前の由来としたうえで、「宮本先生は職人の方々と一緒に移築し、つくられた。設計者と職人が一緒になって良い物をつくろうという精神、それこそが緑艸舎であり、それは今の名匠会につながっている」と話し、「そうした先生の遺志を継いでいきたい」としめくくった。

平成28年度 第1回研修会 【「軽井沢発地市庭」見学会】

平成28年7月23日(土)

講師：(株)宮本忠長建築設計事務所 設計監理主管
加藤 健太郎氏

齋藤木材(株)取締役建築事業部長 齋藤 潔氏

参加者：28名

うねる屋根に設計の妙と集成材の技

平成28年度第1回目となる研修会は、今年4月にオープンした「ほつちいちば軽井沢発地市庭」で開催された。

同施設は宮本忠長建築設計事務所の設計監理。設計のポイントの説明を聴きながら施設を見学した後、施設内の会議室で、宮本忠長建築設計事務所の加藤設計監理主管から、プロポーザル時の計画案や写真を用いて、計画概要・設計コンセプト、建物の特徴等について説明していただいた。

また同会会員で同施設の工事に協力した齋藤木材工業建築事業部長の齋藤氏から、施工(集成材・木工事)で工夫した点や苦労した点を聞いた。

軽井沢発地市庭の建物は、南軽井沢の風景と呼応するように屋根・軒先のラインがうねるダイナミックな大断面の集成材を使用した建物だ。集成材の製作・運搬可能な最長が18mのところ、同施設のスパンは19mのため、中央で金物が目立たない工夫をしながら接合している。

見学を終えた会員からは「CADで図面はつくれても、実際に施工するのは大変だろう」という感想が出た。齋藤さんは「施工を担当した新津組さんがしっかり管理してくれ、スムーズに済んだ。集成材を使った建物として、当社の中でも代表的なものになった」と話した。



会議室でのレクチャー

避暑地の気持ちの良い気候の中、土曜日で賑わう「発地市場」で、新鮮な野菜・果物を買って求めたり、食事をしたり、参加者は各々自由に楽しんだ。



軽井沢発地市場 見学

平成28年度第2回研修会 信州名匠会リレートーク VOL.12 【石工事の奥深さと魅力を知る】

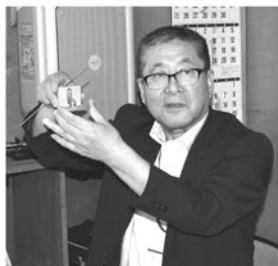
平成28年9月28日(水)

講師：(株)シナノ大理石 犬飼 栄治氏

参加者 23名

今回で12回目となるリレートークは、石工事についてシナノ大理石の犬飼氏に、宮本忠長会長との思い出の作品を交えながら石の奥深さを語っていただいた。

まず石についての知識、原料・分類・特徴等、詳しく解説していただいた上で、使い所・仕上・工法等



石工事の奥深さと魅力を語る犬飼氏の説明を聞き、石についての根幹を成す知識を学んだ。その中で「同一の原料は世界に二つと無く、人類の歴史よりも古いものを扱っているため、同一物の代替えが不可能」と犬飼氏は語る。言葉から一つひとつの石に込める想い、情熱に触れることができた。

犬飼氏が手がけた数々の石工事を写真と共に紹介した。中でも「大理石の切り出し」、「軽石による断熱」が会場の驚きを誘った。

大理石はつき合わせるとき、どれだけ一枚物に見えるかが重要。切り出す角度、場所等の綿密な検討によって、流れるような美しい大理石の模様になる。まさに匠の技を紹介していただいた。

さらに軽石による断熱材としての使い方に一同興味を惹かれた。自社を実験建物としており、外壁(サイディング)の上から軽石を貼っている。軽石を張るだけで大きく断熱効果が上がったと犬飼氏は語る。「凍害により石が割れてしまうのでは」と懸念の声が上がったが、実際に凍るのは表面のみで、多くの空気層により断熱効果で中はほとんど凍らない。重量も軽い

ため、改修工事などで活躍できるのではと期待が高まる。最後に宮本忠長会長との思い出の物件を紹介していただいた。信濃毎日新聞本社前にある石のオブジェ「小鳥の水飲

み場」。上面には両手の手のひらが彫ってあり、雨で水が溜まるデザインが施されている。通常は冷たく硬い石だが、やわらかい手のひらが優しく水をすくいあげているかの様なデザインは、「宮本忠長氏を表しているようだ」と語った。

平成28年度 第3回研修会 【「蚕都・上田市」見学会】

平成28年11月19日(土)

講師：笠原工業(株) 取締役会長 笠原 一洋氏

上田蚕種(株) 取締役社長 手塚 本衛氏

参加者：26名

明治・大正の製糸業支えた建物を探訪

11月の第3回研修会では上田市の「旧常田館製糸場施設」「上田蚕種共同組合事務所棟」「信州上田真田丸大河ドラマ館」を訪れた。



午前中に訪れたのは

「旧常田館製糸場施設」笠原工業にて説明する笠原会長

国指定重要文化財で、今年8月には天皇・皇后両陛下が訪れた場所でもある。両陛下を案内した笠原工業の笠原一洋会長から当時の様子をビデオを交えてうかがったほか、明治時代に建築された木造土蔵造瓦葺繭倉庫や大正時代に建築された鉄筋コンクリート造陸屋根の繭倉庫などを見学した。また昼食時には両陛下がご休憩の際に飲まれたという桑の葉茶を参加者全員でいただき、両陛下が使われたという桑の茶碗に触る機会も得た。笠原会長からは「両陛下から『古い物を残すのは大変ですが、今後も残してください』とのお言葉をいただいた」などのエピソードをうかがった。

午後は「上田蚕種共同組合事務所棟」を見学。大正時代の事務所建築の典型といわれる木造二階建ての建物は、外観は洋風、内部は純和風。大正時代に建てられてからほとんど手が加えられておらず、市川崑監督の「犬神家の一族」など映画にもしばしば使われた。参加者は、風情のある建築を設計士や職人などそれぞれの目で楽しみ、全員集合した記念写真撮影した。

その後は「信州上田真田丸大河ドラマ館」へ移動。明治・大正時代に「蚕都」として栄えた上田の歴史に続き、戦国・江戸時代の歴史に触れ、研修会を終えた。



上田蚕種共同組合事務所棟にて